

# 株式会社 工セカ

株式会社 工セカ



- 企業
- クリエイター
- 一般

## 厚手の革も得意な 染色加工ファクトリー

工セカのユニークな社名は「江澤染革株式会社」の頭文字から取られています。社名の通り、染色、塗装、二次加工といった、革の織細な仕上げが得意。さらに「革の柔らかさやしなやかさ」を出す「味（あじ）」加工のため、ドラムを使って再なめしなども行っています。

ベルト、鞄、バッグなどすべてのジャンルにまたがる革素材を扱っています。特に4~4.5mm厚の牛革の仕上げは手がかかる工場が少數。ヨーロッパの革の素晴らしい技術に触れることが多いので、そういう点は改めて勉強になります。また最近は「ワイルドな味が楽しめる厚手の革」のニーズが高まってきた。普通1.5~1.8mm程度の厚みが一般的ですが、その倍以上（約2.5mm）の厚みは、加工するのもなかなかの力仕事なのです」と江澤社長は話します。

牛革を背中から2つに割つたものを半裁と呼びますが、4mmの厚さの半裁は15kgとかなりの重さ、なめすのも乾燥させるのも重労働です。

哺乳類革の染色、  
塗装では乾燥工程も重要。  
弊社では狙った質感になるようじっくり乾燥させて仕上げます。  
丁寧な仕事によるこだわりの  
素材をご覧ください。

代表取締役  
江澤 正喜



カーキバール  
タンニン鞣しのポリュームーな  
山羊革をバール仕上げ

ソフトヌメ  
ソフト仕上げで優しい手触りの  
タンニンなし（ヌメ）革

### 株式会社 工セカ

〒131-0042  
東京都墨田区東墨田  
3-15-19  
☎ 03-3613-8851  
FAX:03-3613-8854  
代表取締役 江澤正喜



- 企業
- クリエイター
- 一般（ネットショップ）



石居みさお皮革

# 石居みさお皮革

ISHII MISAO HIKAKU

幅広い方々に  
革の面白さを伝えていきたい

最近、ハンドメイドでレザーフラットをする人たちに「カラーが豊富で扱いやすい」「家庭用ミシンでも縫製ができる」と人気が高まっている「ビッグスエード」。

石居みさお皮革販売代理店「中村貿易」は、ビッグスエードを1枚からネットで販売する皮革業界でも珍しい存在です。皮革の作品制作に適した基本色から徐々にカラバリエーションを増やしていくシナジー的な魅力を発揮しています。ギフト・ショールームにて、カラー展開の強みを活かして、カーネル展開の強みを活かしたような色のビッグスエードを使ったショーケースなど、色バリエーションが伝わりやすい「ラインナップ」を考えています。

「一枚の革のままよりも、革を立体制にして、革のイメージや作り手のイメージーションが喚起されます。今後は、素材屋から発送されることで、財布や小銭入れといったシンプルな革小物などを製作しています。ギフト・ショールームにて、在庫ストックがあるので、「一枚だけ」でも「同ロットの同一色20枚」という発注でもOK。200枚づつ染めているため色々でも珍しい存在です。

最近では商品用や企業ノベルティ用として財布や小銭入れといったシンプルな革小物などを製作しています。ギフト・ショールームにて、在庫ストックがあるので、「一枚だけ」でも「同ロットの同一色20枚」という発注でもOK。常に在庫ストックがあるので、「一枚だけ」でも「同ロットの同一色20枚」という発注でもOK。200枚づつ染めているため色々でも珍しい存在です。

皮革の作品制作に適した基本色から徐々にカラバリエーションを増やしていくシナジー的な魅力を発揮しているようです。その強みをもつて活かして、幅広い方々に革の面白さを伝えていくたいと思ってます」と中村専務語ります。

専務取締役  
中村 伸一

ビッグスエードを常時80色以上在庫して、1枚から量産分まで、スピードと安定供給で営業しています。革小物製造のOEMもご相談ください。

WEBサイトやSNSなどでも、革のアラゴな魅力やレザーやゴート（ヤギ）など動物別の特徴など、積極的に情報発信を行っているのでぜひご覧ください。

### Recommend



超撥水スエード  
製造工程で撥水剤を加え  
半永久的に水を浸透させない

スエード  
常時80色の在庫があり  
1枚から販売中！

### 販売代理店 中村貿易 株式会社

石居みさお皮革販売代理店：中村貿易株式会社  
〒131-0045 東京都墨田区押上3-62-3 中村ビル  
☎ 03-6657-4440 FAX:03-5247-4080  
✉ nakamura@abctown.net  
Webショップ：<https://abctown.net>



HP

# 墨田革漉工業 株式会社

墨田革漉工業 株式会社



革漉（かわすき）とは、革を薄くスライスして厚さを調整する加工。日本における革漉加工の元祖がこの墨田革漉工業です。さらにエンボス（型押し）、パンチング（穴開け）、フイルムや箔を貼る、ブリーフ、デジタルカッティング（ナイフで切れ目を入れる）…と、さまざまな後加工を手がけ、革業界では頗りにされる存在です。

日本で黒田革漉だけが持つ特殊加工の「デジタルカッティング」は、革を少しづつ移動させながら包丁のようないつづ切り込みをやっていきます。送る距離を変えることで様々なカット模様が生まれさえ、ナイフで細かくカットした革を水洗いして手羽立てるなど、革を深加工された数え切れないこれまでの素材の中には、これまでに加工された数え切れないほど多くの素材が数百種類が並べられ圧倒されます。革は加工の重ね方次第で無限にオリジナリティを作ることができるので、並べたショールームには、これまでに加工された数え切れないほど多くの素材が数百種類が並んでいます。

会社のショールームには、これまでに加工された数え切れないほど多くの素材が数百種類が並んでいます。

加工のスペシャリストとして型押、パンチング、プリーツ、箔貼、インクジェットプリント、カッティング加工等に対応。皮革面積計量や薄漉きも承ります。

代表取締役社長 佐藤泰二

- 企業
- クリエイター
- 一般（ネットショップ）

## Recommend



インクジェットプリント  
写真やイラストをインクジェット方式でプリント  
スペシャルドット  
金属感のある箔や様々な柄のフィルムを貼る加工です

### 墨田革漉工業 株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広 4-43-4  
☎ 03-3613-2131 FAX.03-3619-5380  
✉ skltd@nifty.com  
HP : <http://www.sumidakawasaki.com/>  
WEBショッピング : <https://kawasaki.thebase.in/>

顧問 佐藤 功  
代表取締役会長 佐藤元治 代表取締役社長 佐藤泰二



- 企業
- クリエイター
- 一般

# 有限会社 兼子皮革染色工場

有限会社 兼子皮革染色工場



## 多様な加工技術で デザイナーの創作意欲を刺激

どちらかで囁きを聞きつけて『ここ

他にも増えているのが、海外から輸入した革の色がブレているので、修正が得意。とくに婦人靴向けの革用が多く、最近では財布やパスケースといった革小物が増えています。熱や薬品でシワをだすヒートシユリンクや、ガラス棒で擦つて深い艶を出すグレージング加工なども得意ですね。

「難しいケースも多いですね。どちらかで囁きを聞きつけて『ここ

へも増えていて、すでに仕上げが終わっているが、製品になってから加工のリクエストも少なくありません。

「難しいケースも多いですね。どちらかで囁きを聞きつけて『ここ

へも増えていて、すでに仕上げが終っています。革の芯まで染まらないなど、すぐに仕上げが終っているが、製品になってから加工のリクエストも少なくありません。

「難しいケースも多いですね。どちらかで囁きを聞きつけて『ここへも増えていて、すでに仕上げが終っているが、製品になってから加工のリクエストも少なくありません。

「難しいケースも多いですね。どちらかで囁きを聞きつけて『ここへも増えていて、すでに仕上げが終っているが、製品になってから加工のリクエストも少なくありません。

「難しいケースも多いですね。どちらかで囁きを聞きつけて『ここへも増えていて、すでに仕上げが終っているが、製品になってから加工のリクエストも少なくありません。

## Recommend



ワックスアニリン  
染色／グレージングした  
ヌメ革をワックスで仕上げる  
グレージング  
染料染め革にタングク質を塗り  
ガラス玉で磨き上げる

### 有限会社 兼子皮革染色工場

〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-14-25  
☎ 03-3612-3710 FAX.03-3612-3665  
✉ hkaneko25@gmail.com

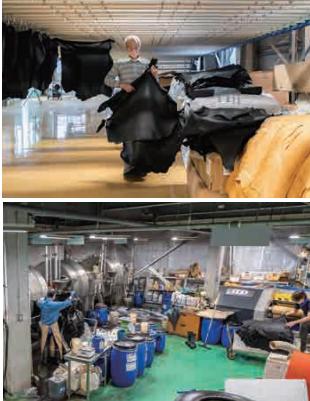
地図

取締役会長 兼子隆之  
代表取締役社長 兼子優介  
取締役専務 兼子拡二 担当 兼子洋之



# 有限会社 ティー・エム・ワイズ

企業  
 クリエイター  
 一般(ネットショップ)



有限会社 ティー・エム・ワイズ  
「革作りはいたってアナログ、型押しさをする金属の型板は手作業で設置・交換し、フィルムを貼る作業、撮影の小道具、ミニージカルの特殊なコスチュームなど、他では見つけてしまうような案件も墨田キールでは数多くござりてきました。  
◆みだり生まれる  
「革」ならではの体験価値を追求  
「革作りはいたってアナログ、型押しさをする金属の型板は手作業で設置・交換し、フィルムを貼る作業、撮影の小道具、ミニージカルの特殊なコスチュームなど、他では見つけてしまうような案件も墨田キールでは数多くござりてきました。

◆白以外の下地も可能なインクジット  
トプント  
2020年、ティーエムワイズの新工場がオープン。クリーンで明るい工場には、多くの見学者が訪れます。工場内でも話題のスポーツとなっていました。ピーコックやシャープをはじめとした小判ものが得意でした。それがでなく、最近では牛革の半切も扱えるよう大型のドラムやフレス機も導入されています。

そして、コロナ禍を経てまた新たな分野にチャレンジ。2021年11月には、さまざまな革に繊細な印刷を施せる、大型のインクシジェットプリンター機が工場に導入されました。「これは国内メーカーの機械だけではなく、海外の工場にも同様の機械がありますが、元データの再現性が非常に高いです。白の下地にしかプリントできませんが、黒やブラウンなどダークな色の下地にもプリントが可能になりました。このプリントを使ってフォトグラファーの方と「ヨーロッパレーシヨン」、スニーカーやバンブースを作して、ニューヨークの展示会に出展しました。海外の作り手が、新しいアイテムでショーケースに登場してくれると嬉しいです。」と代表取締役の渡邊守夫社長は笑顔で話します。

精細な印刷ができる  
インクジェットプリントで  
写真家の方とコラボ。  
アートのような革をNYの  
展示会に出品。



## Recommend



羊革スエード防水革  
羊革のスエードを防水した革

ラム・ソフトナッパラン  
衣料用に作った0.75mmの革。裏面をコーティング。

## 有限会社 ティーエムワイズ(T.M.Y's)

〒131-0042 東京都墨田区東墨田3-14-21  
☎ 03-5630-8189 FAX.03-3612-5111  
✉ tmy\_s3@yahoo.co.jp  
HP : <https://www.leatherlabtokyo.com/>

営業 加藤友樹  
代表取締役 渡邊 守夫



企業  
 クリエイター  
 一般

# 株式会社 墨田キール



◆エンタメ界のスタイリスト達も駆け込む  
工房には、ずらりと並んだ箱やフィルムの数々。ブランドオリジナルの革づくりを、ここ墨田キールでスタイルさせて、世界のマーチットへと羽ばたいていったクリエイターは数知れず。墨田キールの社長・長谷川憲司さんは、「こんななのを作つてみたい」という作り手のビジョンを細かくヒアリングして、「これならもう柔らかい方がいい」とか「こんなこともできる」といった様々なアドバイスをしています。

革の下地×フィルム×箔の組み合いで、無限の可能性が広がる革の加工の世界。自分がオーダーする革の素材を求める人にとっては、ぴったり一枚が生まれる「夢」です。噂を聞きつけて、エンタメ界のスタジオの小道具、ミニージカルの特殊なコスチュームなど、他では見つけてしまうような案件も墨田キールでは数多くござりました。

◆みだり生まれる  
「革」ならではの体験価値を追求  
「革作りはいたってアナログ、型押しさをする金属の型板は手作業で設置・交換し、フィルムを貼る作業、撮影の小道具、ミニージカルの特殊なコスチュームなど、他では見つけてしまうような案件も墨田キールでは数多くござりました。

箔を押す作業は人間の五感がすべてです。若手クリエイターの方と一緒にものづくりをしていくことで、市場にはない素材開発の面白さに気づいてもらえると嬉しいですね」と語る長谷川社長。

今年は、「全日本ビッグスキンタナーズ工業組合」の理事長に就任されたとともに、東京祭りッグスキンの認知度アップについて考えることがあります。

「せかかこの東京・墨田で作られる革を、ぜひ販路としてふくらませていきたい」と語ります。

「さまざまな地産地消の商品とし、届けることはできないか。周囲を見渡してみると、全国は害虫駆除された動物などを、ジビエ料理としてふくらませて販売しているところです。今は製品の背景にある、ものがたり」を楽しむ時代。ここならではの体験価値を、更に磨いていきたいと考えています。」



代表取締役  
長谷川 憲司

## Recommend



ヘリンボーン  
革とフィルムの組み合わせにより、光の反射色がシートに見えます  
アメ豚  
高級カバン、ランドセル等に使われるタンニンなしのエコレザー

## 株式会社 墨田キール

〒131-0041  
東京都墨田区八広 4-9-2  
☎ 03-3617-8551 FAX.03-3617-8553  
✉ info@sumidacuir.co.jp  
HP : <https://sumidacuir.co.jp/>

代表取締役 長谷川 憲司



# 長坂染革 株式会社

企業  
 クリエイター  
 一般



長坂染革 株式会社

多くのつくりは時代を映す鏡。  
売店で購入されていた革製品も  
ネットで購入することも増え、多く  
のクリエイタたちがブランド  
を立ち上げる。そんな空気を感じ、  
呼吸するように、しなやかに進化  
し続ける長坂染革。染色、オイル、  
ワックス、こがし加工…と技術を  
駆使し、革本来の魅力を探している。  
革好き「Tiger」の嗜好を把握する  
一方で、製品メーカーやクリエイ  
ター達に向けた素材も企画する。  
重厚感のあるヌメ革（タンニン  
鞣しの固い革）から、織網なイン  
クジエイト（革の皮を剥ぎ取った後  
に、皮の表面に特殊な薬剤を塗り、  
皮の表面を柔らかくして、皮の性質を  
保ちつつ、革の風合いを出させる加工）  
など、様々な革の魅力をよりよく引  
き出すことも心掛けている。

「ひとつひとつのがれに丁寧に  
お応えできるよう努力しております。  
広いが、豚革の魅力をよりよく引き  
出すことも心掛けている。  
うれしいです。こうした積み重ね  
で東京の革づくりに携わる一員とな  
れて、できる限り次の世代へつな  
げていきたい」と代表取締役の長  
坂守康さんは語る。

要拡大に合わせ、個人で活動する  
クリエイターが増加。長坂染革では  
は小ロットの注文にも受け入れ体制  
を整え、培ってきた技術力と経験

豚革をはじめ牛革、ゴート等の  
タンニン鞣しを中心に行なっています。  
ヌメ革の素材感を大切に手作業により革の魅力を  
十分に引き出す革割りを心がけています。

代表取締役  
長坂 守康

## Recommend



プリント革+アルファ  
インクジェットプリントした後に  
各種加工を加えます

ナチュラルレザ  
染色やワックス等の加工に  
適した素朴なタンニン鞣し革

## 長坂染革 株式会社

〒124-0006 東京都葛飾区堀切 1-34-8

☎ 03-3691-1161

FAX: 03-3691-1512

✉ nagasaki\_senkaku@yahoo.co.jp

HP: <https://nagasaki-senkaku.jp/>

代表取締役 長坂 守康



## クリエイター達に向 け 小ロットでの注文にも対応

で対応している。

さらに業界関係者からの工場見  
学の問合せも増えているので、  
業務に支障がない範囲内で対応し  
てほしい。「これまで有力メーカー、セレク  
ションズ、百貨店ほか、たくさん  
の関係者にご賜りました。  
革の基礎知識を学ぶ機会がない皆  
さんには、革の魅力をお伝えでき  
たらと思います。皮革業界のため  
になります。社会貢献の一助に  
なればいいな。弊社は浅草工  
アから離れていたのですが『浅草  
エーラウンド』関連企画にもご協  
力させていただいています。」

皮革を起点に、ものづくりとひ  
とをつなぐ同社のクラフトマン  
シップ。長坂社長をはじめ各ス  
タッフの胸にそっと灯り、ジャバ  
ンザーの未来を照らす。

企業  
 クリエイター  
 一般



## 斬新な革の企画と伝統的な技術

有限会社 ティグレ

# 有限会社 ティグレ

企業  
 クリエイター  
 一般

## ◆トレーデマークの「虎」を屋号に

「ティグレ」とはイタリア語で「虎」

のこと。豚革の企画・製造を得意と  
する有限会社ティグレは、2004  
年から墨田で革づくりをスタートさ  
せました。

前身の会社は1948年創業で「虎

印」がトレードマークだつたことが  
伝えられています。

70年以上前から代々引き継がれて  
きた皮革製造の技術をもとに、革の  
魅力を最大限に引き出す革づくり、  
製品づくりを行っています。ティグ  
レの代表的なPオーストはロングブレ  
ーになり、特に塗縮（えんしゅく）が  
加工と呼ばれる「革の縮み加工」が、  
花々を表現した「スマールフラワー」  
は、20年以上オーダーが途絶えない  
ベストセラーになっています。

◆さまざまな豚革の加工技術が支持  
される  
また、革の表面にシルクスクリー  
ン等で特殊薬品の印刷を施して、そ  
の後収縮させることで凹凸感を表現  
した、新しい塗縮加工もヒット商品。  
まるで糸をかけたような、それでいて  
モダンかつ柔らかな質感に魅了さ  
れるブランドも多いのだとか。これ  
は、20年以上オーダーが途絶えない  
ベストセラーになっています。

ティグレのPオーストは本物の  
オートートと見間違える程シボの  
風合いが似ています。  
ロングセラー商品として  
ヒットしています。

代表取締役  
加藤 文夫

## Recommend



Pオースト  
豚革にオーストリッチの型押しし、簡  
便に手作業でシボ加工を施し、  
革と本物のオーストリッチが相性良  
く、流いざらしの空気感を醸し出し、  
リアルな仕上がりを表現します。

Pマーキュリー  
豚革に手作業でシボ加工を施し、  
革と本物のオーストリッチが相性良  
く、流いざらしの空気感を醸し出し、  
自然なシワ感を表現しています。

## 有限会社 ティグレ

〒272-0813 千葉県市川市中山1-7-15

☎ 047-332-3747 携帯: 090-1658-4860

FAX: 047-332-3747

✉ tigreleather@gmail.com

HP: <http://www.tigre-leather.com>



代表取締役 加藤 文夫